

平成 29 年 6 月 21 日

音楽録音に関心を待たれる学生の皆さんへ

## “学生の制作する音楽録音作品コンテスト”

一般社団法人 日本オーディオ協会では、学生の皆さんの柔軟な発想を生かした魅力ある「音楽録音作品」の登場を期待し、今年も四回目となる“学生の制作する音楽録音作品コンテスト”を開催いたします。

### 趣旨

一般社団法人 日本オーディオ協会では、我が国で音楽録音教育やオーディオ教育に関わる専門の教育機関が設立される以前より、音楽録音教育やオーディオ教育の重要性を認識し、その啓発に取り組んでおります。

その一例を上げますと、1980 年代末までに、欧米の教育機関の活動状況などを現地で学んだ学生による紹介記事などを多数“JAS ジャーナル”（日本オーディオ協会の技術機関誌）に掲載し、啓発に努めてきました。

また、日本オーディオ協会設立者の一人、音響工学の権威でもあった故伊藤毅先生からも“JAS ジャーナル”（1991 年 7 月号）誌上において“芸術的にも高水準で技術的にも高品質の録音音楽を制作するための要員養成の重要性”に関する指摘に基づき、録音技術者教育の充実にも努めてきました。このような努力もあり、我が国ではその後多くの教育機関が設立されました。

音楽録音の本質は今でも変わりませんが、最近になって録音技術に関する周辺状況に大きな変化が訪れています。一昔前にはかなり大がかりな設備を要した「録音」は、最近の小型高性能のデジタル録音機器の普及発展により、学生や若者たちにも比較的高音質の録音が容易に実施できる環境が整ってきています。このような状況に鑑み、4 回目となる今年度は、音楽系大学や専門学校で録音技術を専攻されている学生だけではなく、一般大学で音楽録音に興味を持たれている学生まで告知を広げて作品を募集いたします。

日本オーディオ協会は、当コンテストを通じて、オーディオ文化を広め、楽しさと人間性にあふれた社会を創造するべく、健全な「音楽録音」と「音楽再生」の発展を強く期待するものです。この機会に学生の皆さんの奮ってのご応募をお願いいたします。

以上

一般社団法人日本オーディオ協会  
音の日委員会 委員長 森 芳久

“学生の制作する音楽録音作品コンテスト”事務局

TEL 03-3448-1206 / FAX 03-3448-1207

e-mail: jas@jas-audio.or.jp

## 募 集 要 項

1. コンテストの名称：“学生の制作する音楽録音作品コンテスト”
2. 主催：一般社団法人日本オーディオ協会  
共催：Audio Engineering Society 日本学生支部  
協賛：ソニー株式会社、ティアック株式会社、株式会社ヤマハミュージックジャパン  
協力：Audio Engineering Society 日本支部
3. コンテストの概要  
応募要項に示す形で応募された作品について、専門家からなる審査委員会にて厳格な審査を行い、2017年度「音の日」（12月6日（水）ホテル雅叙園東京にて開催予定）にて優秀作品を発表し作者の努力を表彰します。
4. 応募資格：「音楽録音に興味を持つ学生の個人またはグループ」（専門学校以上の学生）
5. 応募作品の権利処理  
応募作品の権利はそのまま応募者に所属します。日本オーディオ協会では、作品制作や録音過程で生じる著作権処理などは行いません。著作権者、著作隣接権者の許諾を必要とする作品については、応募者が個々に処理してください。日本オーディオ協会では、本コンテストの審査発表会で応募作品を再生する際に必要な事務処理についてのみ行います。応募作品を再生する際に必要な使用料など処理すべき内容を応募用紙に記入してください。著作権、著作隣接権について疑問のある方は、著作権団体にお問い合わせください。他人の作品の無断使用や、権利者に迷惑の掛かる行為が無いよう、くれぐれもご注意ください。
6. 応募期間等
  - ・受付開始日：2017年6月21日（水）
  - ・応募締切日：2017年10月27日（金）必着
  - ・応募作品制作期間：2017年1月1日以降制作のものとします。尚、この制作期間であれば、卒業制作作品等、在学中に作成された卒業生の作品も対象とします。
7. 提出書類
  - ① 応募申込み用紙
  - ② 録音制作企画書

8. 提出録音音源

- ① 2ch ステレオの場合：USB メモリー（ステレオインターリーブ WAV ファイル）または、44.1kHz 16bit 規格の CD-R
- ② 5.1/5.0ch サラウンドの場合：USB メモリーに各チャンネル名を明記した WAV ファイル（例：〇〇.LF.wav, 〇〇.RF.wav, 〇〇.C.wav, 〇〇.LFE.wav, 〇〇.LS.wav, 〇〇.RS.wav）  
注：最大 6ch までとする（4.1/4.0ch も可）

9. 応募作品の提出先

（一社）日本オーディオ協会 “学生の制作する音楽録音作品コンテスト” 事務局  
〒108-0074 東京都港区高輪 3-4-13 レフォルマ高輪 4F  
TEL03-3448-1206 FAX03-3448-1207

10. 審査員構成

審査委員：	亀川 徹	東京芸術大学 音楽学部
	長江 和哉	名古屋芸術大学 音楽学部
	柿崎 景二	尚美学園大学 芸術情報学部
	我妻 拓	日本工学院専門学校 ミュージックカレッジ 音響芸術科
	深田 晃	dream window inc.
	中村 寛	WOWOW/Audio Engineering Society 日本支部
	千葉 精一	日本オーディオ協会
	高松 重治	CS ポート/日本オーディオ協会

11. 表彰内容

- ・コンテストは、作品の企画力や音楽性、録音技術力の 3 点から競うもので、応募作品から優秀作品（複数）を表彰致します。
- ・表彰者には、賞状と記念品を贈呈いたします。
- ・表彰者には 12 月 6 日に開催される「音の日」での表彰式及びシンポジウムへの参加、並びに同日開催の“音の日のつどい”パーティーにご招待します。

12. 日本オーディオ協会の活動内容、および、「音の日」についてはホームページをご参照ください。

- ・日本オーディオ協会について：  
<http://www.jas-audio.or.jp/about>
- ・「音の日」イベント関係  
[https://www.jas-audio.or.jp/events\\_cat/sound-day](https://www.jas-audio.or.jp/events_cat/sound-day)  
[https://www.jas-audio.or.jp/events\\_cat/takumi](https://www.jas-audio.or.jp/events_cat/takumi)  
[https://www.jas-audio.or.jp/events\\_cat/record-awards](https://www.jas-audio.or.jp/events_cat/record-awards)

# “学生の制作する音楽録音作品コンテスト”

## 応募申込用紙

2017年 月 日

記入者氏名： \_\_\_\_\_

各項目にご記入ください。□にはチェック（✓）してください。

1. 申込情報：

① 制作作品名：

・

② 代表者氏名/学校・所属団体名：

・

③ グループ構成員氏名/学校・所属団体名：

・

・

・

④ 連絡先：

・ 氏名：

・ 住所：

・ 電話番号：

・ メールアドレス：

2. 著作権処理：

・ 著作権処理の必要性： 必要 / 不要

・ 必要な許諾の入手先名：

・ 許諾入手処理： 済 / 未処理

3. 提出予定日：

録音制作企画書： \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日

提出録音音源： \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日

4. 提出物のメディア形態：以下のメディア以外は受け付けません。

USB メモリー

サンプリング周波数： \_\_\_\_\_ kHz

量子化ビット数： \_\_\_\_\_ bit

チャンネル数： \_\_\_\_\_

CD-R (44.1kHz 16bit の CD 規格に準拠したもの)

## 録音制作企画書

2017年 月 日

記入者氏名： \_\_\_\_\_

下記フォームに記入、又は、各項目をフリーフォームで記入の上、提出ください。

1. 本作品の企画意図：
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
2. 本作品の内容：
  - ① 作品内容概要：
  
  
  
  
  
  
  
  - ② 作曲（あるいは編曲）内容説明：
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
3. 演奏者（グループ）：
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
4. 演奏編成およびマイクセッティング図面【楽器など音源の配置図、マイクポジション、マイクの種類（判る範囲で可）など】  
注-1) 以下の空欄に書ききれない場合は別紙添付または裏面でも可
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
5. DTM ソフトにて MIDI やサンプリング音源を利用して制作された音源については作品全体の約何%を占めるかを記載して下さい。（100%も応募可）  
MIDI でも楽器名が判れば記載して下さい。

6. 録音会場：

(ア)会場名：

(イ)広さ（ホールの場合客席数。スタジオ等の場合は凡その床面積、天井高など）：

(ウ)モニター環境：

7. 使用録音機材一覧

8. ミキシング環境（録音後の編集やミックスダウンで使用した場合）

(ア)モニター環境：

(イ)使用機材など：

9. 提出作品（DTM制作音源も含む）での楽器の音像定位などを図で示して下さい。

10. 当初の意図通りの成果が得られた点：

11. 当初の意図が得られなかった点と今後の改善策：

12. その他録音に対する特記事項など：